

コンフォール上野台福祉アンケート調査報告

先日は、ふじみ野市社会福祉協議会の「福祉アンケート調査」にご協力いただきありがとうございました。

アンケート調査の集計が終了いたしましたので、地域の皆様に結果を報告いたします。

アンケートの詳細、ご意見、ご相談等につきましては、ふじみ野市社会福祉協議会ふくし総合相談センターにじいろ(TEL049-265-6300)までお問合せください。

コンフォール上野台福祉アンケート調査集計結果

1,451世帯/男性1,337人/女性1,526人/総数2,863人/令和2年5月1日現在

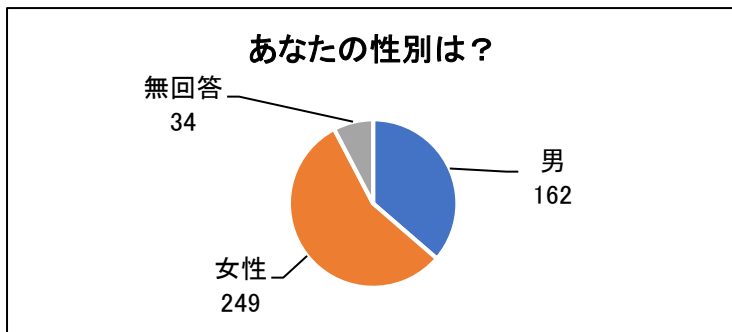
1,007世帯配布のうち315世帯回収(回収率31,3%) 回答者数445人

アンケート実施期間 令和2年9月10日～9月23日

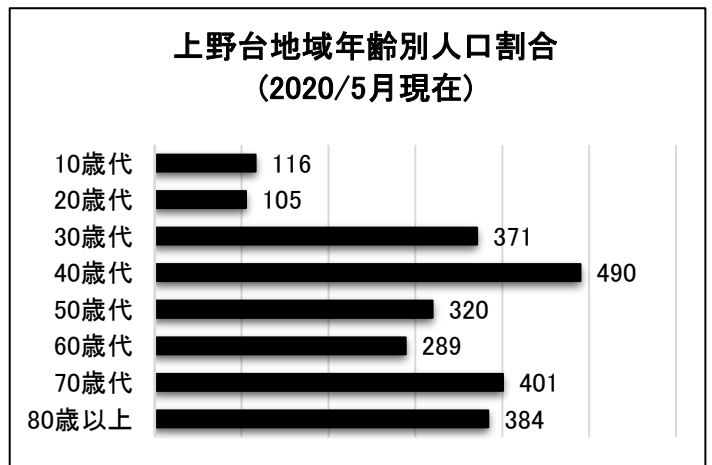
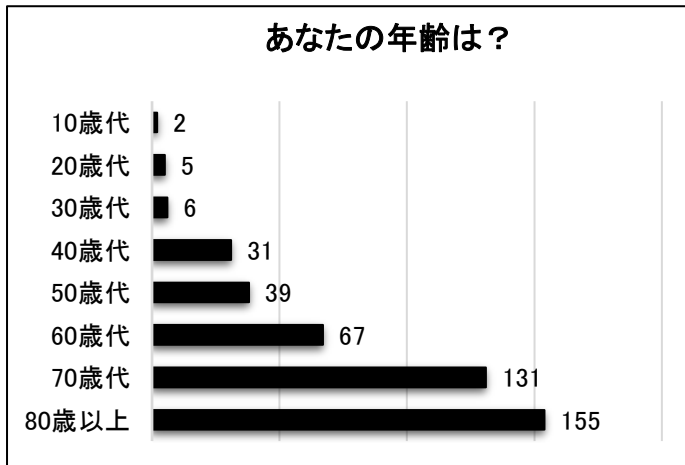
～福祉アンケート調査実施までの流れ～

- ・2月25日(火) 社協上野台支部福祉委員、社会福祉協議会担当職員打合せ
- ・8月19日(水) 社協上野台支部福祉委員、社会福祉協議会担当職員打合せ
- ・8月下旬 福祉アンケート実施事前周知ポスター掲示
- ・9月10日(月) 福祉アンケート配付
- ・9月23日(水) 福祉アンケート回収
- ・11月19日(木) 福祉アンケート住民座談会開催(福祉委員等関係者向け)
- ・11月下旬以降 福祉アンケート調査報告書配付

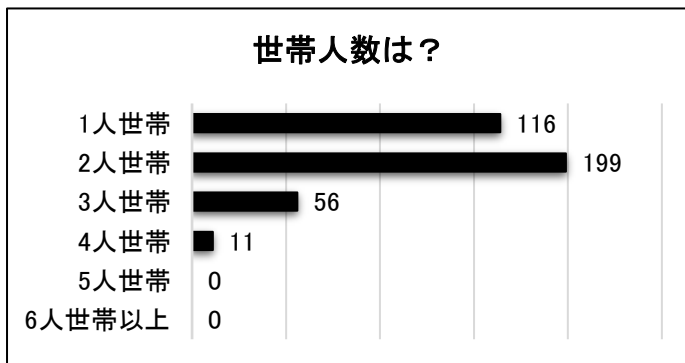
【1】 あなたの性別は？



【2】 あなたの年齢は？



【3】 世帯人数は？

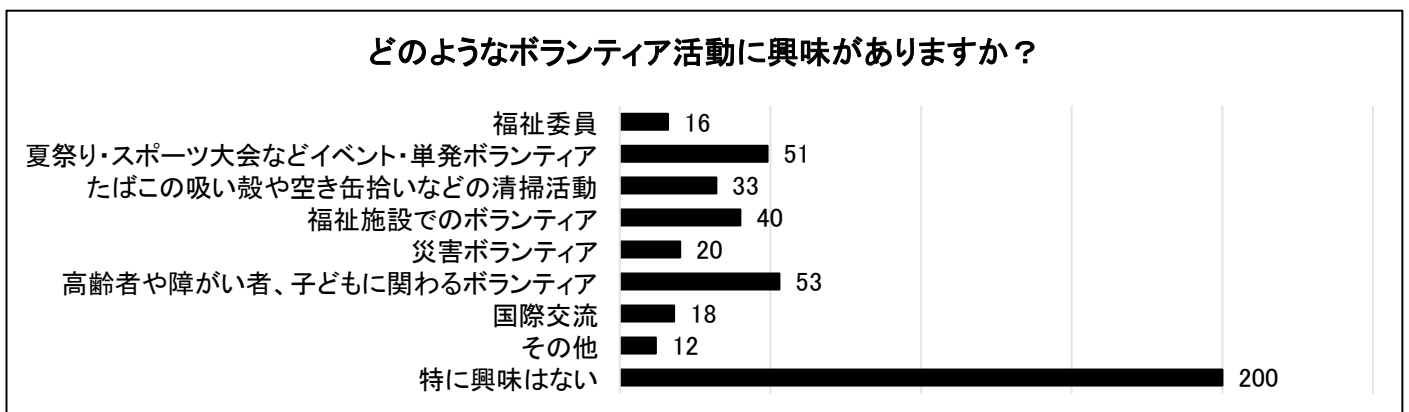


《考察》

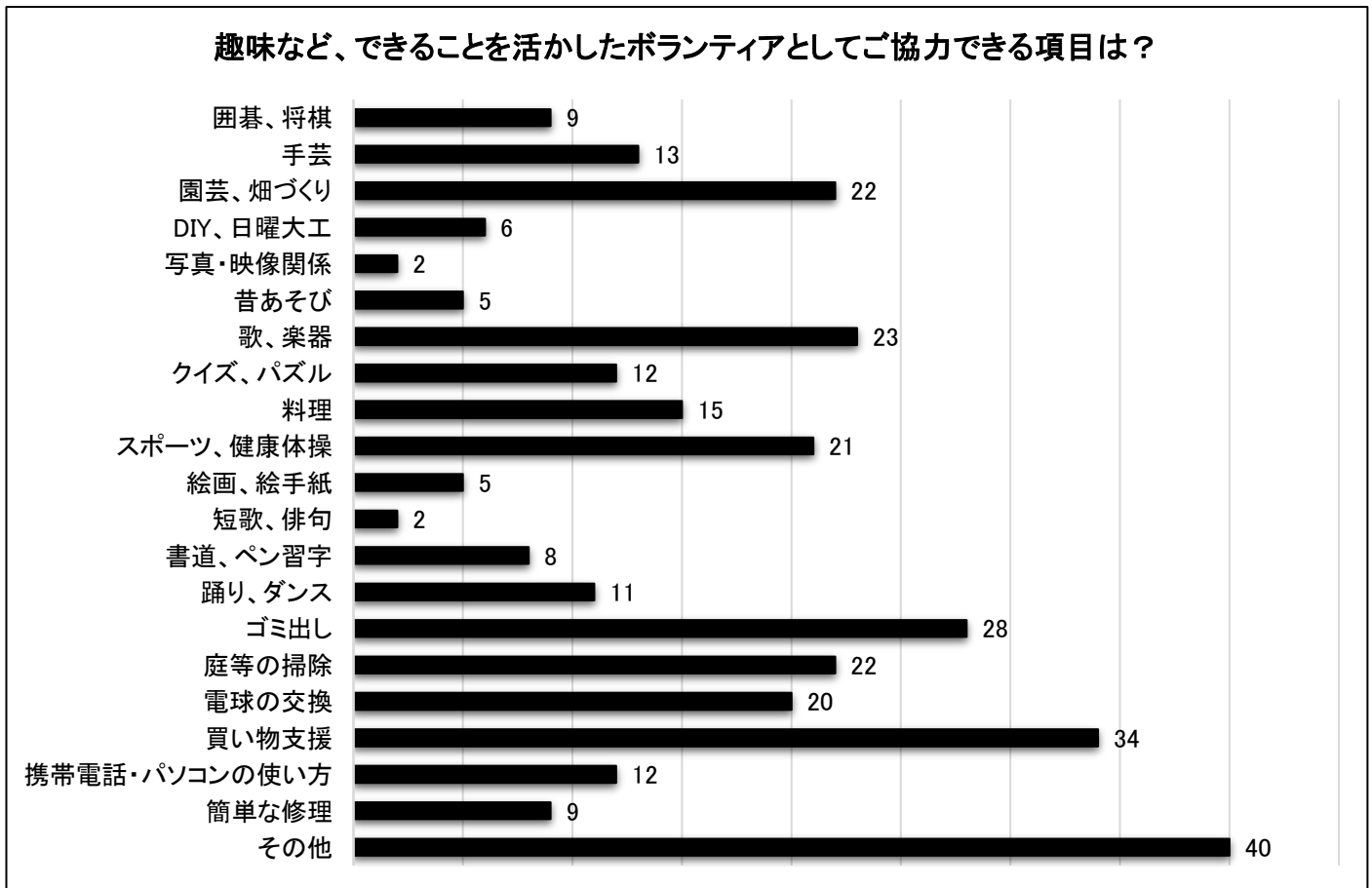
回答者の割合は、男性37%、女性56%の割合で女性の回答が多かった。回答者の年代では、80歳以上の方からの回答が35%と一番多く、40歳代以上の方からの回答が、95%と大半を占めた。

【4】 社会福祉協議会では、上野台支部の活動を担う福祉委員を始め、地域の様々なボランティアを募集しています。ボランティア活動について伺います。

(1) あなたはどのようなボランティア活動に興味がありますか？当てはまるもの全てに○をつけてください。



(2) 趣味など、できることを活かしたボランティアとしてご協力できる項目はありますか。当てはまるもの全てに○をつけてください。

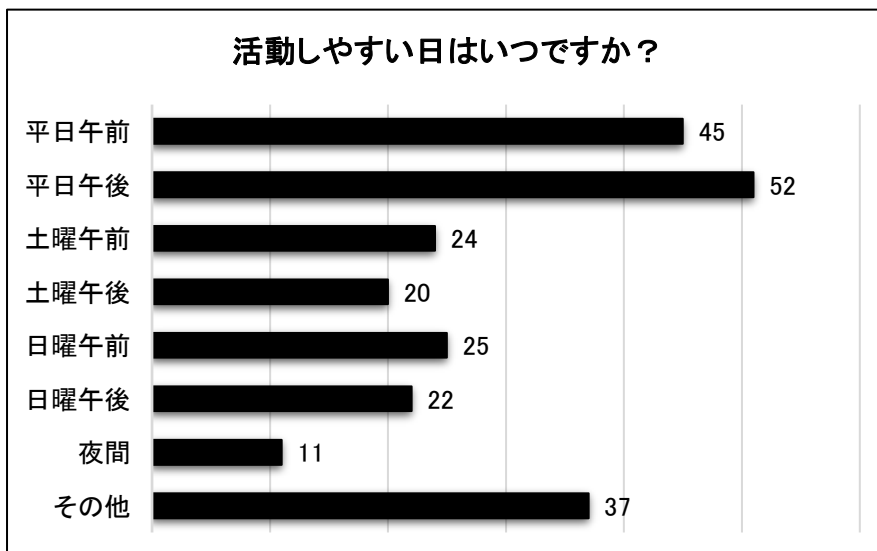


《考察》

設問【4】(1)、(2)ともに全ての項目に回答が得られたこと、さらに【4】(1)で「特に興味はない」と回答された方でも、(2)のいずれかの項目に回答して下さった方がいることから、ボランティア活動に必ずしも積極的ではなくても、ご自身の趣味やできることとうまく合えば、ボランティア活動につながる事が確認できた。

また、その他の回答としては、「話し相手」、「麻雀」、「ゲーム・リクリエーション」などがみられた。ボランティア活動の担い手を増やしていくためには、みなさんの趣味やできることもボランティア活動の1つであることを多くの人達に伝えていくことも必要だと思われる。

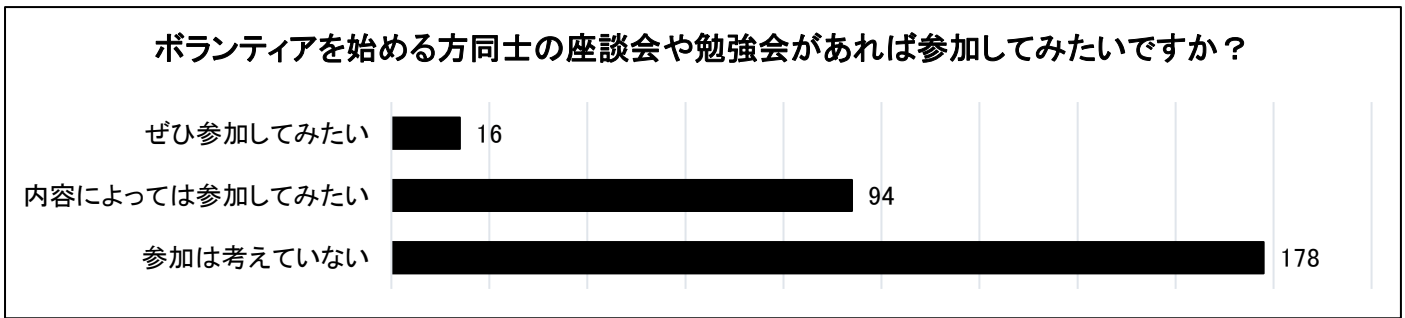
(3) ボランティア活動を行うとすると、活動しやすい日はいつですか？ 当てはまるもの全てに○をつけてください。



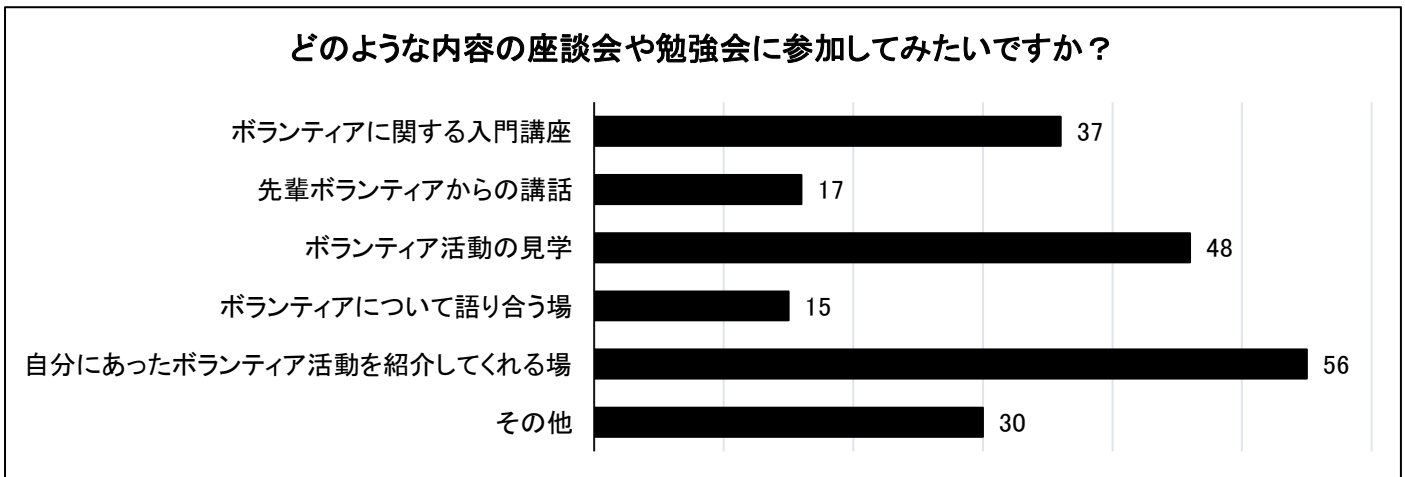
《考察》

20歳代～50歳代は土曜日・日曜日の方が多く、70歳以上は平日の回答が多かった。60歳代では、平日・土日に大きな差はみられなかった。また、その他で寄せられた意見は、「仕事がない日」、「高齢のため難しい」、「いつでも」などの回答がみられた。

(4) ボランティア活動を始めるにあたり、ボランティアを始める方同士の座談会や勉強会があれば参加してみたいですか？



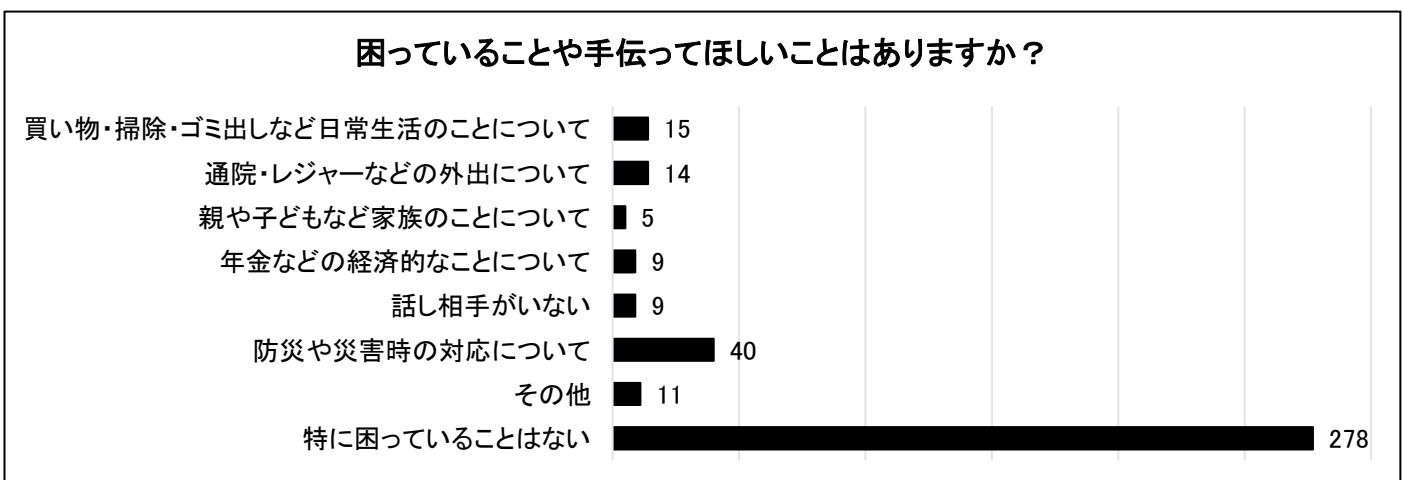
(5) どのような内容の座談会や勉強会に参加してみたいですか？当てはまるもの全てに○をつけてください。



《考察》

「ぜひ参加してみたい」、「内容によっては参加してみたい」と回答された方が108名いらっしゃった。また、内容については、「自分にあつたボランティア活動を紹介してくれる場」や「ボランティア活動の見学」が比較的多く、設問【4】(1)(2)の結果を合わせると、「自分自身にあつたボランティア活動」を見つける(紹介する)ことが、ボランティア活動の担い手を増やす鍵だと推察できる。

【5】 生活の中で、困っていることや手伝ってほしいことはありますか？当てはまるもの全てに○をつけてください。

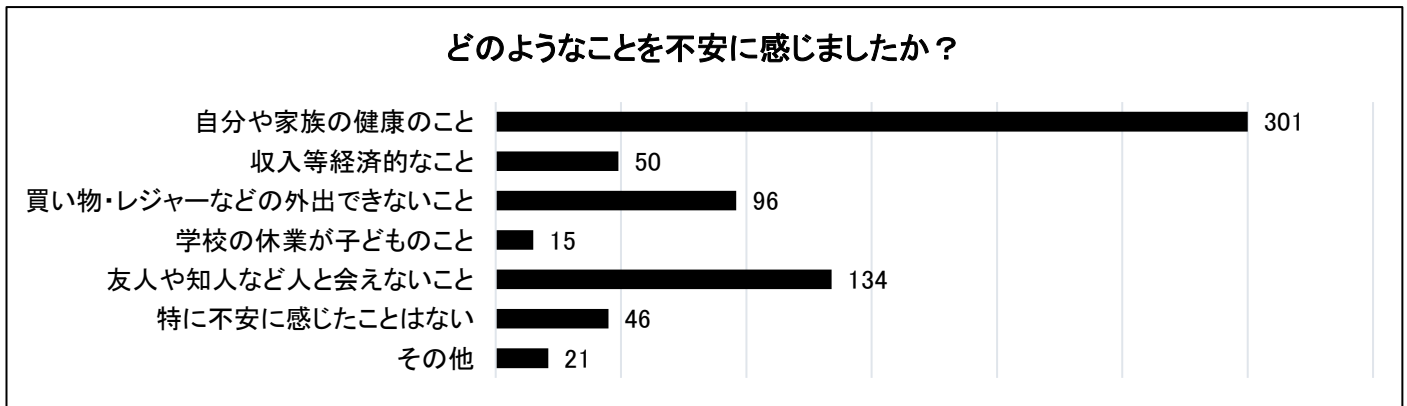


《考察》

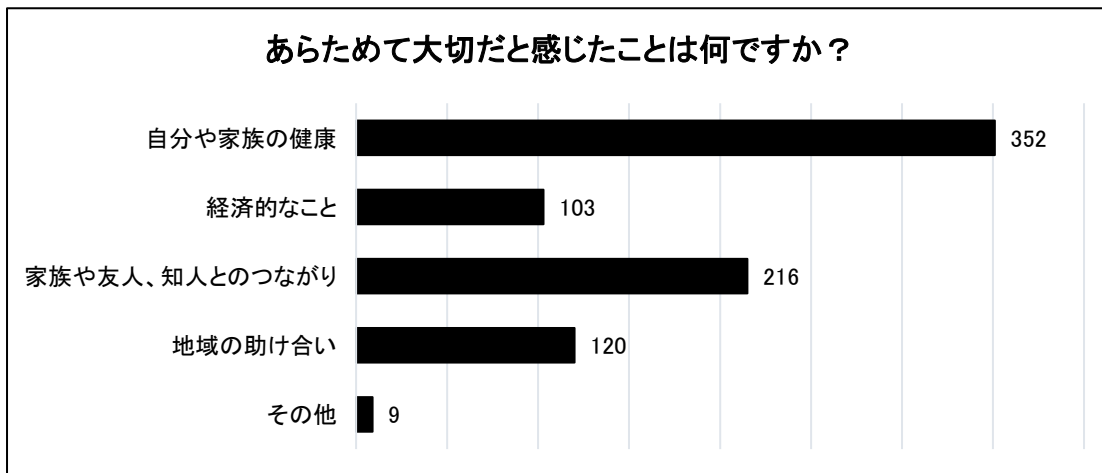
「特に困っていることはない」と回答された方が、全体の73%を占めた。回答した方のなかには、「現在は困っていないが、今後はわからない」と回答された方が多くみられた。

【6】 新型コロナウイルス感染拡大に伴い、日々の生活で感じたことについて伺います。

(1) どのようなことを不安に感じましたか？当てはまるもの全てに○をつけてください。



(2) あらためて大切だと感じたことは何ですか？当てはまるもの全てに○をつけてください。



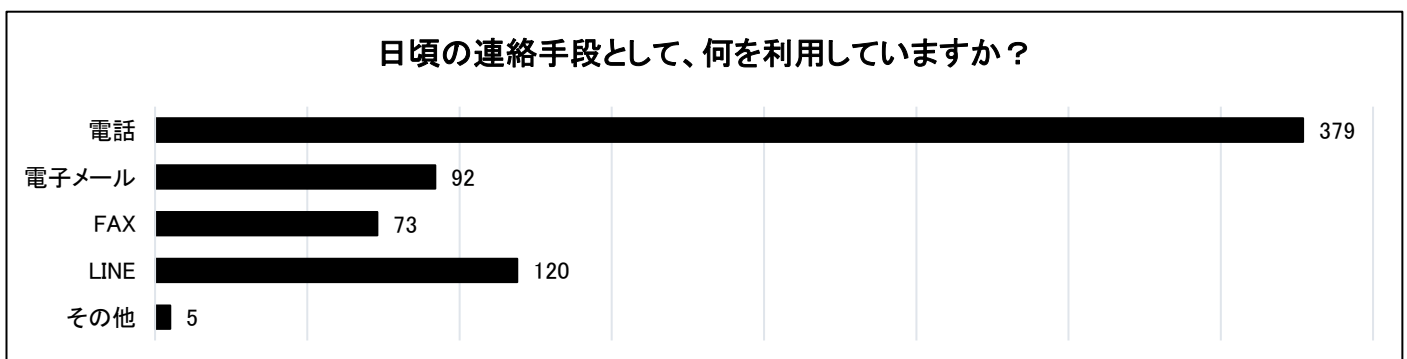
(年代別)

	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上
自分や家族の健康	2	4	6	26	30	55	107	119
経済的なこと	1	0	2	14	14	17	26	27
家族や友人、知人とのつながり	2	3	2	18	14	29	77	73
地域の助け合い	1	1	2	11	10	17	33	45
その他	0	0	1	1	1	0	4	2

《考察》

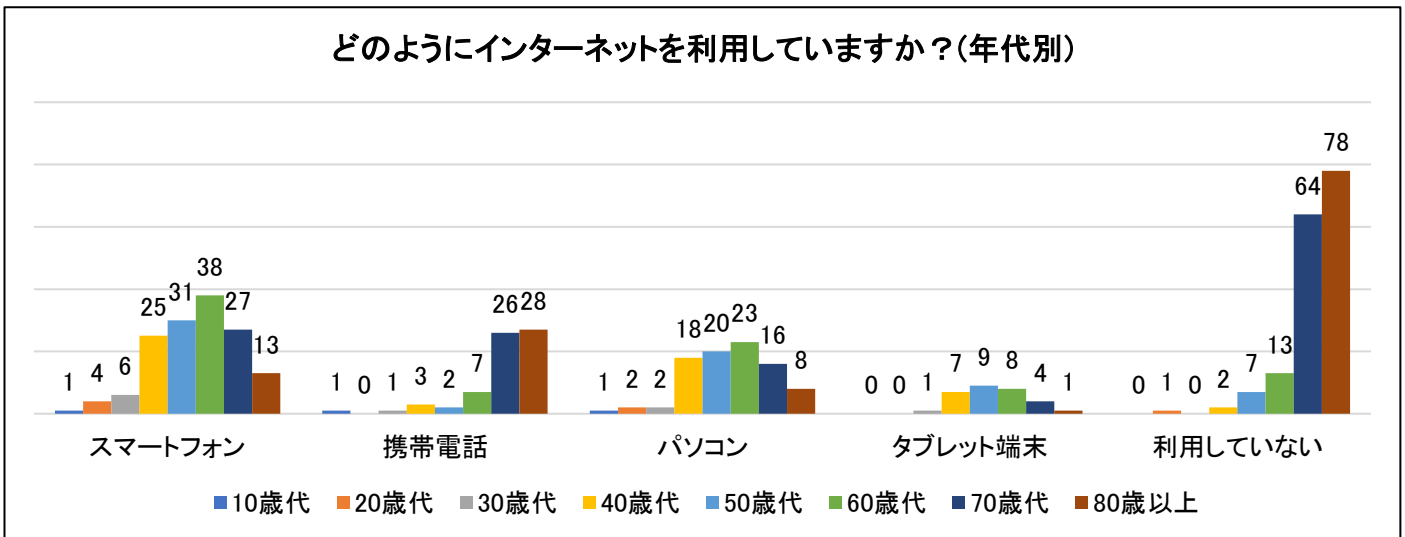
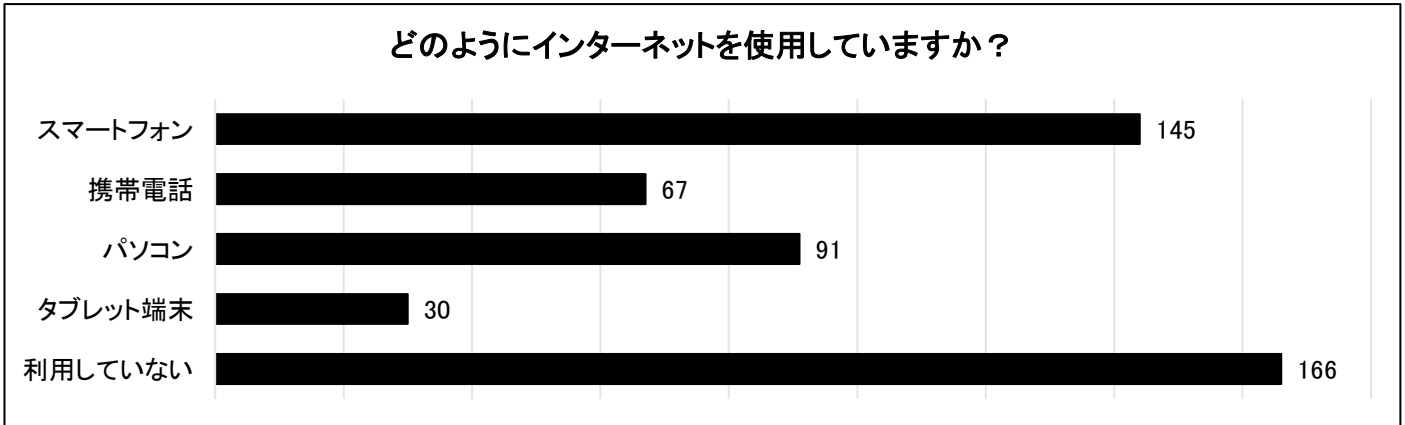
設問【6】(1)(2)ともに「自分や家族の健康について」不安や大切だと感じた方が多くを占める結果となった。また、コロナ禍のなか「地域の助け合い」が大切だと感じた方が120名いらっしゃったことから、この思いをさらに広げていけるような事業展開をしていきたい。

【7】 日頃の連絡手段として、何を利用していますか？利用しているもの全てに○をつけてください。

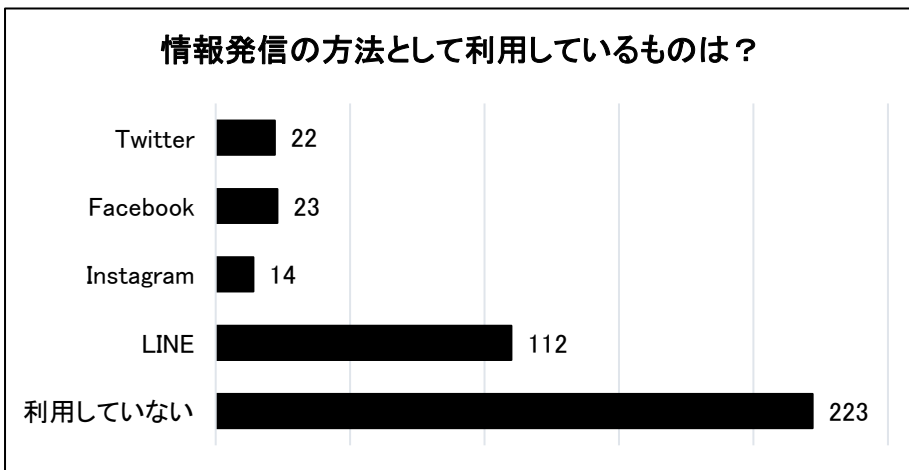


【8】 インターネットや情報発信について伺います。

(1) どのようにインターネットを利用していますか？利用しているもの全てに○をつけてください。



(2) 情報発信の方法として利用しているもの全てに○をつけてください。



《考察》

連絡手段としては、電話が57%で大半を占めた。

情報発信の方法としては、「LINE」が年代問わず、多くの回答がみられたことから、今後ボランティア情報を伝えていく際の有効な手段の1つであることがわかった。

(年代別)

	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上
Twitter	1	4	1	6	3	2	3	2
Facebook	0	4	1	6	4	2	5	1
Instagram	1	3	1	6	2	1	0	0
LINE	1	3	5	20	21	29	22	10
利用していない	0	1	1	8	15	31	82	83